

6/28講義後スライド修正

第10回 6月28日の講義内容

- § 3-6. 調査の実施
 - 実施方法
 - 実施手段
 - 実査にあたって
 - エディッティング
 - データファイルの作成とクリーニング
- ディスカッション (職場モラル)

6/28/06

1

§ 3-6. 調査の実施

- 調査の実施方法
 - 自計式: 調査対象者自身で記入
 - 例) 国勢調査
 - Good: (人に知られたくないような) 微妙な問題の調査がやりやすい。
 - Bad: 用語解釈の不一致が生じやすい
 - 他計式: 調査員が記入
 - 例) 世論調査
 - Good: 用語解釈の一致・統一が容易
 - Bad: 微妙な問題の調査が難しい(調査員に影響されやすい)

6/28/06

2

§ 3-6. 調査の実施(2)

- 実施手段
 - 人: 訪問
 - 個別面接 ... 調査票調査の基本(自計/他計)
 - 留置
 - 郵送 ... 回収率低い(3割程度)
 - 電話 ... 対象が特定できない
回答の信頼度が低い
 - インターネット ... HTML形式で作成
スクリーニングは容易であるが
対象者は特定できない

6/28/06

3

実査について

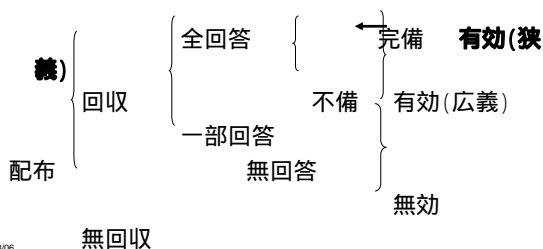
- 準備
 - 調査マニュアルと調査員へのインストラクション
 - 依頼状の発送
 - 調査キットの用意: 地図、調査票、謝礼品等
- 実査本番
 - 面接の心得: 良好な人間関係の構築
 - 回収時の点検

6/28/06

4

エディッティング: editing

- 有効票と無効票の区別



6/28/06

5

エディッティング(2)

- 回答エラーの扱い
 - 単純回答エラー: 単なる回答間違い
 - 論理回答エラー: 論理的に矛盾する回答

↓

属性や他の回答等の情報を用いて合理的に推測

6/28/06

6

データファイルの作成とクリーニング

- コーディング
 - 回答のコード化: 分析ソフトに合うように
 - コード対応表(コードブック)を作成のこと
- データ・クリーニング
 - 単純集計チェック
 - クロスチェック(論理チェック)

6/28/06

7

ディスカッション (職場モラル)

- 第9回の課題
 - 配布した資料の10の質問に回答する
 - この質問や尺度の作り方に関して、どのような問題点があるか、考える
- 調査(質問)の意図
 - 明示せず 各自に考えさせる
質問内容から意図を読み取る練習

6/28/06

8

受講者の回答集計

		全く問題がない	さほど問題はない	どちらともいえない	やや問題がある	かなり問題がある
Q1	職場の文具(筆記具・便箋など)を私用に使った	1	5	0	2	1
Q2	職場のコピー機で趣味の雑誌のコピーを5枚程度とった	0	4	1	2	2
Q3	金券ショップでディスカウントチケットを購入して、会社から支給された旅費を浮かし、差額を返還しなかった	1	2	1	3	2
Q4	会社から旅費を支給されている航空券で買ったマイレージを私用に使った	4	4	1	0	0
Q5	会社から支給されている携帯電話(通信費は全て会社持ち)を家族や恋人との会話に使った	0	1	1	5	2
Q6	モデルチェンジで換わった制服を返却せず記念に取っていた	2	4	1	1	1
Q7	定時より15分早く帰ったのに、定時にタイムカードをうってもらうように頼んだ	0	0	0	4	5
Q8	勤務時間内に休暇の旅行の申し込みを会社のPCからインターネットで申し込んだ	0	2	1	4	2
Q9	軽で人気の出た取引先に配布する景品・ノベルティを友人に配った	1	2	3	3	0
Q10	参加人数を水増しして予算以上の接待をした	0	0	0	1	8

6/28/06

9

質問(文)についての問題点

- 「私用」という用語に具体性がないのでは。(Q1, Q4)
- 具体的な数字を入れる必要がある。(Q2, Q7)
- Q8は「勤務時間内」と「会社のPC」を分けるべき
- 状況(問題背景)によって、回答が変わるのでは。(Q5, Q6, Q7, Q9)
- 実際に就労している人とそうでない人によって印象が異なるのでは。
- 「問題アリ」に誘導していないか。

6/28/06

10

選択肢についての問題

- 「さほど問題はない」と「やや問題がある」の違いは何か、判りにくい。
- 2択(Ok, No)でよいのでは。
- 3択(問題がない、どちらともいえない、問題がある)でよいのでは。
- Q10は皆が同じ回答をするのでは。

6/28/06

11

全体についての問題点

- 調査目的は何か?
「企業内の倫理」か「コンプライアンス」か
- モラルの問題を調査したいのだからと思うが、ルール違反か否かを定めるルールがあやふや
- 状況や程度によって判断が異なるのではないか。
- 何についての職場のモラルが明確にする必要がある(Q7以外は公私の別だが、Q7はそれとは違ったモラルである)

6/28/06

12

調査(質問)の目的

- 職場における日常のモラル(行動準則)を問う。
Everyday Justice in Workplace
- 行動準則が、人によって同一なのか、かなりのバラツキがあるのかをみる。
- 程度によって判断が異なることもあるので、状況を具体的に示した上で質問する。

6/28/06

13

再びディスカッション

6/28講義後スライド修正

- 調査目的が明らかになったところで、もう一度議論しよう。

受講生からのコメント(1)

- 具体的数値について[5枚、10枚、15枚などの]バリエーションが欲しい
- あやふやなものははっきりさせるのであれば、2択ないし、3択の方がよい

6/28/06

14

受講生からのコメント(2)

6/28講義後スライド追加

- Q6の「制服をとっておく」という行為が思い浮かばなかった。(理解できなかった)
- 不思議な印象を与える調査票
よく読んでみると目的がわかる。数値が不安感を生んでしまう。
- もし、10の質問がガットマン尺度として作られているのであれば、順番を工夫した方がよい
- 妙に意識してしまった箇所があり、答えにくかった
- 微妙な値が入っている質問と入っていない質問の判断は何であるのか

6/28/06

15

指摘された問題点に対する解決案

6/28講義後スライド追加

- 状況をより明確にする
- 問題文で具体的数値の提示 - 2択 or 3択
- 問題文で具体的数値を出さず、程度を示す選択肢から選ばせる。
(例)Q. 定時より早く帰ったのに、定時にタイムカードをうってもらうように頼んだ。
 - 問題がある
 - 15分前以内なら問題はない
 - 30分前以内なら問題はない
 - 60分前以内なら問題はない
 - 120分前以内なら問題はない

6/28/06

16